

因伯兔

いんぱくと

発行月：2022年 9月

鳥取生協病院

鳥取医療生活協同組合



発行元：鳥取県民主医療機関連合会
☎0857-29-3598 ✉tottori@min-iren.gr.jp

「食料無料市」 3回目を開催！

7月30日、鳥取市内の公営住宅を拠点に3度目の食料無料市を行いました。また、鹿野温泉病院（鳥取生協病院関連施設）エリアにある8カ所の公営住宅にもお知らせし、希望者に食材を届けました。あわせてこの間の「無料市」でつながった気になる世帯（50世帯）にも食材を配り、合計100を超えるご家族に届けることができました。今回は、食料支援のことも知った患者さんや地域の方々の協力も増え、夏野菜やお肉まで準備できました。

最高気温35度超えの猛暑に見舞われるなか、会場には開始前から行列ができていました。来場者からは「助かった」「勇気を出して来てみて良かった」などの声が聞かれました。



値上げが打撃に

来場者からは、食費を削ったり、支払いが滞っているという声が出ています。「どう工夫しても、生活費が足りない」「食費を削っている」と話す年金生活者もおられました。食品や電気代などの値上げラッシュがコロナ禍の困難に追い打ちをかけています。また鹿野地域では扇風機もない家があり、後日、病院職員が扇風機を届けました。



新聞に掲載「無料低額診療事業」の取り組み

鳥取民医連の「無料低額診療事業」の取り組みが日本海新聞に掲載されました。「無料低額診療事業」とは経済的理由などで困窮している方々に対し、医療機関を無料または半額の自己負担で受診できる事業のことで、鳥取県内では鳥取民医連加盟事業所8カ所を含む13カ所で実施しています。近年は、新型コロナウイルスや物価高騰により経済格差が更に広がったことから利用者が増加しており、鳥取生協病院では毎月約120名の利用があります。どのような方々が利用されているかという、例えば最近来られた方では、心房細動で9日間入院された70代独居男性。退院時に医事課が請求書を渡した際に医療費支払いの心配に気づき、医療ソーシャルワーカーに相談。無料低額診療を申請し全額減免で適応となりました（このように様々な職種との連携で無低に繋がるケースもあります）。この方は年金額が低く**支払い困難**でした。ただ、鳥取民医連に繋がっている方々は氷山の一角で、地域には制度を知らず困っている方々がたくさんおられます。鳥取民医連としてはこうしたマスコミでの報道なども活用しながら制度を幅広く知らせていきたいと考えています。



ドキドキ研修医

今回は、**苗村(なむら)1年目初期研修医の元氣な姿をお届けします！**

気管支鏡検査（BF）
気管支内視鏡ファイバーを口から挿入して気管・気管支内を観察すると共に、組織や細胞を採取して正確な診断をつけたりする場合に用いられます。

実際にスコープを引かせてもらいました。
良い経験になりました。

呼吸器内科研修の感想
COPD、喘息等、幅広い患者をみることができ勉強になりました。

呼吸器内科にて奮闘中！
苗村医師が気管支肺胞洗浄（肺の中に生理食塩水を注入して、洗浄したものを回収する検査）の助手をしているところです。

